

第 2 5 回
長野県母子衛生学会
総会・学術講演会プログラム

日時・会場： 令和 4 年 1 0 月 2 2 日（土）

10 : 00 ~ 11 : 30 助産師支援研修会（受付開始 9 : 30 ~）

12 : 30 ~ 17 : 20 総会・学術講演会（受付開始 12 : 00 ~）
信州大学医学部地域保健推進センター 3 階
（最終頁に案内図があります）

オンデマンド配信： 令和 4 年 1 1 月 2 日（水） ~ 1 1 月 1 3 日（日）

参加形態	学術講演会 参加費	助産師支援研修会 参加費
1. 会 員 個人参加	2,000 円	1,000 円
2. 非会員 個人参加	4,000 円	2,000 円
3. 施設参加	20,000 円	20,000 円

*申し込みは事前登録、参加費は振込をお願いしております。

主催：長野県母子衛生学会

共催：信州大学医学部地域保健推進センター

【お問い合わせ先】長野県母子衛生学会事務局
松本市旭 3 - 1 - 1 信州大学医学部保健学科内
徳武千足 TEL : 0263-37-2379
e-mail : nagano-boshi@shinshu-u.ac.jp

学 会 プ ロ グ ラ ム

10 : 00 ~ 11 : 30 助産師支援研修会

12 : 30 ~ 12 : 50 総会

12 : 50 ~ 13 : 00 学術情報提供

13 : 05 ~ 15 : 47 一般口演

16 : 00 ~ 17 : 00 特別講演

17 : 00 ~ 17 : 20 意見交換会 (飲食は伴いません)

註1 : 本学会は以下の交付対象です。

- ・ 『日本産科婦人科学会』 専門医研修出席証明 10点
- ・ 『日本専門医機構』 学術集会参加 1単位
- ・ 『日本専門医機構』 産婦人科領域講習 1単位 (注 ; 現地参加でのみ発行されます)
- ・ 『日本周産期・新生児医学会』 周産期専門医研修会 2単位
- ・ 『日本産婦人科医会』 研修参加証
- ・ 『日本助産評価機構』 アドバンス助産師 選択研修修了証 (特別講演)
- ・ 『日本助産評価機構』 アドバンス助産師 必須研修「助産師と倫理」修了証 要課題提出
- ・ 『日本助産評価機構』 アドバンス助産師 学会参加証

註2 : お車でお出かけの方は、信大病院駐車場をご利用ください。(有料)

助産師支援研修会

* 『日本助産評価機構』アドバンス助産師 必須研修「助産師と倫理」要課題提出

10:00～11:30

「助産師と倫理」

信州大学医学部保健学科 准教授 玉井 真理子 先生

研修会アンケートはこちらからお願いします⇒



学術情報提供

12:50～13:00

1. 産科領域：「長野県における新型出生前診断に関して」

信州大学医学部産科婦人科学教室

菊地 範彦 先生

2. 小児科領域：「長野県医療的ケア児等支援センターの活動紹介」

信州大学医学部小児医学教室

三代澤 幸秀 先生

一 般 口 演

I 群

座長 古川亮子（長野県看護大学）

13：05～13：50

1. 模擬産婦養成プログラムを受講した助産師が参加した OSCE を実施して

佐久大学助産学専攻科

○柴田香菜子、中田覚子、竹内良美、湯本敦子

本学では分娩介助実習前の助産学生の評価として、産婦ケア場面の OSCE を実施している。これまでは教員が模擬産婦を演じていたが、学生の産婦ケア能力のさらなる向上と実習の円滑なスタートを目指し 2022 年度より新たな取り組みとして模擬産婦養成プログラムを開講し受講した助産師に参加を得て、OSCE を実施したため報告する。

2. 新型コロナウイルス感染症流行下で実施した助産師基礎教育の評価

～卒業生と指導者へのインタビューから捉えた就職後 1 年目の課題～

信州大学医学部保健学科

○芳賀亜紀子、徳武千足、鮫島敦子、豊岡望穂子、中込さと子、金井誠

新型コロナウイルス感染症流行下で実施した助産師基礎教育の評価を目的とし、2020 年度卒業生と指導者を対象にインタビューを行った。就職後 1 年目の助産実践能力到達状況と課題について報告する。

3. 救急隊員の病院前周産期救護に関する行動特性の特徴

清泉女学院大学看護学部看護学科・助産学専攻科¹⁾

清泉女学院大学看護学部看護学科²⁾、佐久広域連合消防本部³⁾

○上原明子¹⁾、坂田智美²⁾、小林幸枝³⁾、柳沢寛貴³⁾

救急隊員の病院前周産期救護に関する行動特性の特徴を明らかにすることを目的として、267 名を分析対象に行動特性と属性を調査した結果、経験年数、救急救命士資格、出動経験、分娩立ち合い、学習機会の有無により行動特性が異なることが示唆された。

4. 遠隔診療専用車両を利用した産褥、妊婦健診の試み

菜の花マタニティクリニック

○小池美帆、林美恵、有賀志保、赤羽洋子

山間部に在住の妊産婦・褥婦の中には、健診目的での通院に苦勞されるケースがある。伊那市は 2021 年から通院困難な慢性疾患患者に対して遠隔診療専用車両「INA ヘルスモビリティ」を使用した「モバイルクリニック事業」を行っている。今回、「モバイルクリニック事業」を利用した遠隔での妊婦健診（助産外来）、産褥健診（2 週間健診）を実施したので報告する。

5. 帝王切開術の退院後に深部静脈血栓症を発症した 1 例

信州大学医学部産科婦人科学教室

○布施谷千穂、平林瞭、野村明日香、増田聡美、杉山結理佳、森川めぐみ

横川裕亮、田中泰裕、小野元紀、安藤大史、菊地範彦、金井誠、塩沢丹里

深部静脈血栓症（deep vein thrombosis; DVT）および肺血栓塞栓症（pulmonary thromboembolism; PTE）は、本邦における妊産婦死亡の主要原因の一つである。産褥期は DVT・PTE が好発し、92%が産褥 3 日目までに発症すると報告されている。今回、帝王切開術の 14 日後に左総腸骨静脈から膝窩静脈までの DVT を発症した症例を経験したので報告する。

Ⅱ群

座長 中山佳子（信州大学）

13：53～14：29

6. 未受診妊婦から出生した早産超低出生体重児の退院後の生活を見据えた育児支援

信州大学医学部附属病院南 5 階病棟 NICU¹⁾

信州大学医学部附属病院 患者サポートセンター²⁾

○渡邊さやか¹⁾、田村恵美¹⁾、市村美香¹⁾、牧田ゆかり¹⁾、小堀福子²⁾

今回、10 代の未受診妊婦から出生した早産児の育児支援を行った。児の治療を円滑に進め、養育環境を整えるために母の置かれたライフサイクルと家族像を丹念に読み解き、段階的な育児支援を行う中で、母の自発的行動が促されたため報告する。

7. 非侵襲的陽圧換気療法中の鼻マスク装着児における

創傷用シリコンゲルドレッシング材導入前後の皮膚症状の比較

信州大学医学部附属病院南 5 階病棟 NICU¹⁾、信州大学医学部保健学科²⁾

○伊藤由香里¹⁾、田村恵美¹⁾、川村奈緒¹⁾、牧田ゆかり¹⁾、徳武千足²⁾、芳賀亜紀子²⁾

NICU に入院している NPPV（非侵襲的陽圧換気療法）中の鼻マスク装着児において皮膚保護剤を変更することで、従来、MDRPU（医療関連機器圧迫損傷）に繋がると考えられている皮膚症状の出現に違いがあるかを本研究によって明らかにしたためここに報告する。

8. 長野県における原発性免疫不全症 (PID) / 脊髄性筋萎縮症 (SMA)

新生児スクリーニング検査開始に向けて

長野県立こども病院¹⁾、信州大学医学部小児医学教室²⁾

○白井真規¹⁾、竹内浩一¹⁾、稲葉雄二¹⁾、丸山悠太²⁾

PID/SMA は早期発見、早期介入が良好な予後に寄与するため、両疾患を対象とした拡大新生児スクリーニング検査が急速に拡大している。長野県では県立こども病院の事業として 2022 年 10 月より任意検査の開始を予定しており、その概要を説明する。

9. 出生前診断は高度な遺伝医療なのか？

～診療所・一般病院の産科医・助産師としてできること～

JA 長野厚生連北信総合病院

○長田亮介、佐々ゆかり、山本さやか、倉石美紗子、今井宗、野池雅実

出生前診断というと羊水検査および NIPT といった技術や専門職によるカウンセリングに注目が集まる。その一方、地域の診療所や一般病院の役割についてはあまり注目されていない印象がある。そこで、出生前診断における“一次施設”である当院での診療を振り返りその役割について検討した。

Ⅲ群

座長 上原明子（清泉女学院大学）

14：32～15：08

10. 女性看護職の reproductive health と妊孕性に対する看護支援との関連性

信州大学医学部附属病院看護部¹⁾、信州大学医学部産科婦人科学教室²⁾

○上地由美¹⁾、太田まさえ¹⁾、望月美穂¹⁾、室賀圭悟¹⁾、樋口正太郎²⁾、浅香亮一²⁾

人は性や子どもを産むことに関わるすべてにおいて、本人の意思が尊重され自分らしく生きる権利 (reproductive health) がある。がん治療などの医療現場では救命が第一優先であるが、その支援の提供には医療者個人の価値概念が影響していると考えた。

1 1. 生殖医療後の妊娠受容過程における意思決定支援

信州大学医学部附属病院南 4 階病棟

○北原優美子、由井千鶴、太田まさえ

生殖医療を受け妊娠したものの肯定的に受け入れられずにいた A 氏を受け持った。崎山らの生殖医療を受けて妊娠した女性の妊娠への適応に関する概念モデル（4 属性）をもとに、生殖医療後の妊娠受容過程における意思決定支援を検討することを目的とした。

1 2. 子宮内胎児死亡を経験した母と関わるスタッフの思いと スタッフのニーズに合わせた語りの会の開催方法の検討

長野県立こども病院第 3 病棟

○羽賀優美、金澤仁美、近藤里栄、山崎さとみ

子宮内胎児死亡で児を亡くした母との関わりやグリーフケアでスタッフが抱く思いを明らかにしつつ、スタッフのニーズに合わせたグリーフケアを振り返る場の開催方法を検討することを目的に、産科病棟スタッフを対象にアンケート調査を行ったので報告する。

1 3. ペリネイタルロスを経験したことのある妊婦～次子妊娠時に必要な支援の検討～

信州大学医学部附属病院南 4 階病棟

○飯森華恵、由井千鶴、太田まさえ

ペリネイタルロスを経験した妊婦は、その体験をどのように意味づけ受容したのかにより、新たな妊娠への思いや、その後の母子関係が変わってくるといわれている。今回、ペリネイタルロスを経験した妊婦との次子妊娠時の関わりを振り返り必要な支援を検討した。

IV群

座長 赤羽洋子（菜の花マタニティクリニック）

15：11～15：47

1 4. COVID-19 の収束の見通しが立たない状況下における

日本人妊婦の Quality of Life の実態

佐久大学助産学専攻科¹⁾、石川県立看護大学看護学科²⁾

○中田覚子¹⁾、瀧耕子²⁾

本研究の目的は、COVID-19 の収束の見通しが立たない状況下における日本人妊婦の Quality of Life の実態を明らかにすることである。2021 年 10 月から 2022 年 3 月に、無記名自記式質問紙調査を実施したため、その結果を報告する。

1 5. 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) による妊娠・分娩・育児への影響と

母親の出産満足度・産後うつ傾向の関連について

JA 長野厚生連南長野医療センター篠ノ井総合病院本館 3 階病棟

○坂本華、上田さゆり、富樫桃香、榎和美、塚原裕美子、小林千秋、西岡春華

COVID-19 の感染拡大により立ち会い分娩や入院中の面会が禁止され、出産満足度が低くなり、産後うつ傾向となる可能性が高まっていると予測される。そこで、COVID-19 による妊娠・分娩・育児への影響と出産満足度や産後うつ傾向の関連について検討したので、報告する。

16. はじめて親になる夫婦を対象にしたペアレンティングセミナーの実践と評価
-NPO 法人ながのこどもの城いきいきプロジェクトの実践を通して-

清泉女学院大学看護学部・助産学専攻科¹⁾

NPO 法人ながのこどもの城いきいきプロジェクト²⁾

○石川智恵¹⁾、菅沼ひろ子¹⁾、藤井智恵美¹⁾、田中春海²⁾

本研究は、初めて親になる夫婦にペアレンティングセミナーを実施してその評価を行うことを目的に、セミナー直後の自記式質問紙調査と出産後の電話インタビュー調査を実施した。結果から、出産後の生活におけるセミナーの効果と課題が明らかになり、今後への示唆が得られた。

17. A 病院におけるエジンバラ産後うつ質問票ハイリスクの褥婦への支援

信州大学医学部附属病院南 4 階病棟

○橋本彩、小口伴美、太田まさえ

A 病院では、EPDS 面談を用いて入院中、産後 2 週間、1 カ月で助産師が面談することにより、褥婦の気持ちの変化をとらえている。経時的な EPDS 得点の変動や EPDS ハイリスクの褥婦に対しての介入について現状を明らかにすることで、必要な支援を検討した。

特 別 講 演

16:00～17:00

座長：金井 誠（信州大学医学部保健学科 教授）

「社会的ハイリスク妊娠と子育て」

講師：大阪母子医療センター 病院長

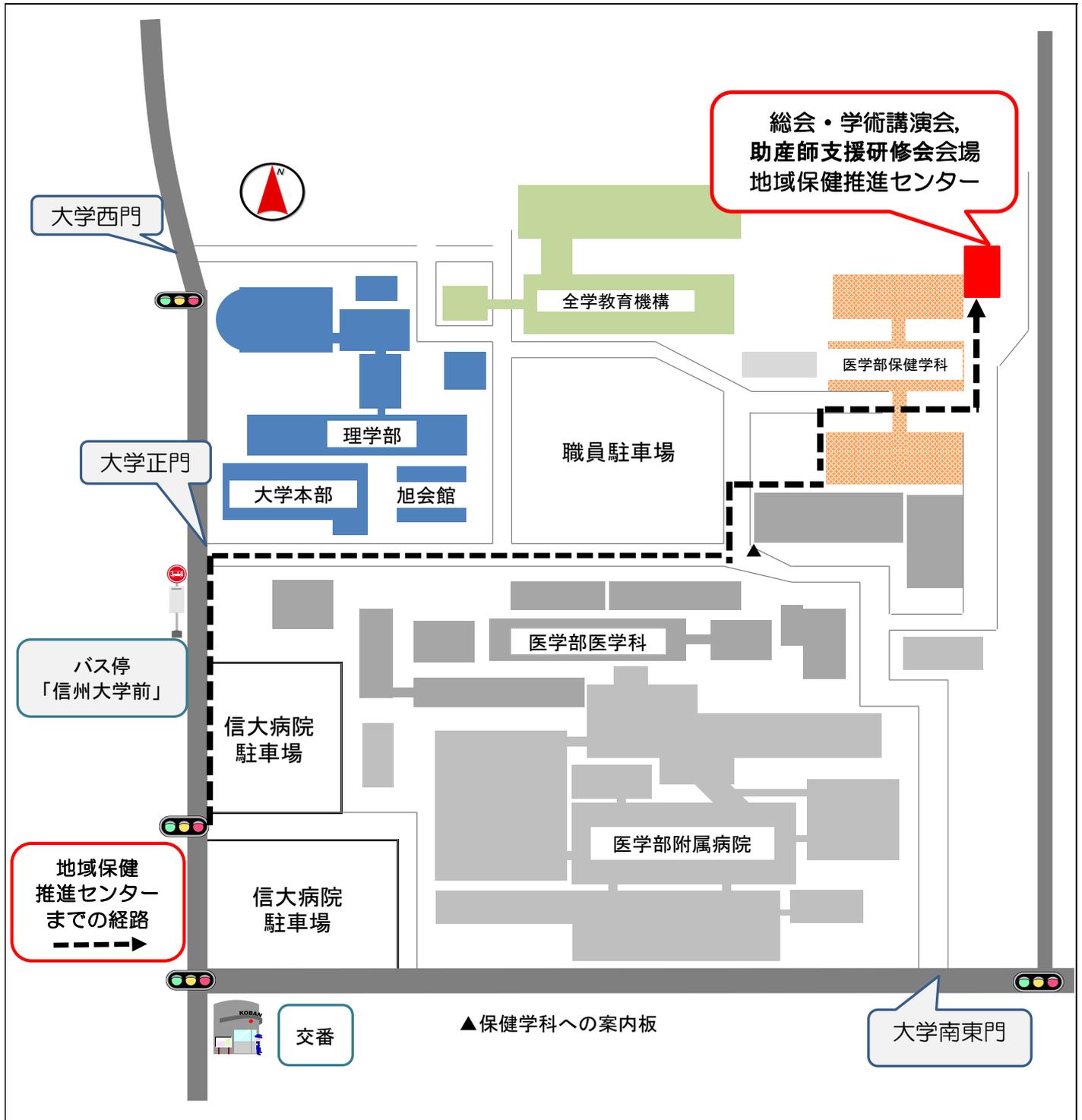
光田 信明 先生

* 『日本助産師評価機構』アドバンス助産師選択研修

意 見 交 換 会（飲食は伴いません）

17:00～17:20

長野県母子衛生学会総会・学術講演会及び研修会会場へのアクセス



* お車でお越しの際には、信大病院駐車場をご利用ください。
サービス券をお渡しいたします(駐車場代200円)。